

## ■選定概要

1. 申請団体数 1 団体

### 2. 審査結果の概要

#### (1) 選定理由

地域のフットサルチームの熱意から発した応募であり、申請者はサッカーを中心としたスポーツ教室の運営や障がい者(児)に対する福祉活動の経験も長く、熱意を感じられた。フットサルを通じたネットワークもあり、幅広い人脈を活用した企画、宣伝等のソフト展開、夜遅くまでの営業方針は利用の活性が期待できる。

「地域コミュニティの場の創出」「多目的スポーツコート」という基本的な考え方や、フットサルのみでなく王仁公園の指定管理者、地域の幼稚園、大学の受け入れなど他団体等との連携や活用方法が幅広く提案されており、この施設ができることで新たな利用者の開拓、地域の活性化のきっかけになる展開が期待できる。

また、クラブハウス等の外観やその構造・設備等についても王仁公園全体の魅力向上にとって有益であり、バリアフリーなどに配慮している点も評価できる。

以上の内容より、申請者を本事業の候補として選定に値すると考える。

#### (2) 付帯意見

公共施設での整備・管理運営経験がないため、公園利用者の安全性を確保しつつ、工期を遵守しながら施設を完成させていくことがきちんとできるかどうか、というところが懸念される。

申請者の財務内容や資金繰りに関しては、多少不安定で不明朗な面がある事は否めない。現場のスタッフのやりくりと賃金の低さについても気になる。資金調達の大部分が借入金であることや、収益の見通しの確実性には若干の不安が残る。計画通りの売り上げが見込めなかった場合、直ちにキャッシュフローが厳しくなると思われるため、財務内容の一層の明朗化と安定化に向け一層努力し、提案に係る事業等を誠実かつ着実に履行し、王仁公園全体の魅力向上に尽力していただきたい。

他団体との連携は、提案するのは簡単であるが、実際に継続的に運用することは困難である。関係者との話し合いや調整に時間をかけて、ていねいに実施していただきたい。

以上のことを念頭に、市もこの団体と事業を「育てる」という意識をもって、市の関連部局による連携・協力・調整を行い、これまでにない多様な利用について柔軟に対応・運用し、P-PFIの成功事例を生み出すという意識で取り組ん

で行ってほしい。

(3) 点数

大項目	中項目	配点	得点
事業の実施方針	事業運営の基本的な考え方	5	3
	公園全体及び地域との連携の方針		
事業の実施体制	事業の実施基盤	20	11
	事業の実施体制		
	リスクと対応方針		
	資金調達計画及び収支計画		
施設の整備計画	公募対象公園施設、特定公園施設の整備計画	30	17
施設の管理運営計画	公募対象公園施設、特定公園施設の管理運営計画	25	22
	ソフト事業（イベントやPR等の計画）		
公園事業への貢献	設置許可使用料	15	15
	収益の還元	5	3
合計		100	71

・「公園事業への貢献」の配点を除く 80 点中、48 点に満たない場合は失格とするが、本申請者は 53 点であった。

(4) 公募の経緯

①公募設置等指針（募集要項）の公表期間

令和4年7月26日（火）～令和4年10月14日（金）

②現地説明会

令和4年8月8日（月）

③公募設置等計画等（申請書）の提出

令和4年10月7日（金）～令和4年10月14日（金）

(5) 審査の経緯

①令和4年6月27日（月）：選定委員現地視察

②令和4年7月14日（木）：第1回枚方市公園施設設置者選定委員会

- ・公募設置等指針の審議
- ・評価項目の決定等

③令和4年10月27日（木）：第2回枚方市公園施設設置者選定委員会

- ・申請者プレゼンテーション及びヒアリング
- ・公募設置等計画等申請書の審査
- ・設置等予定者候補の選定

### 3. 枚方市公園施設設置者選定委員会概要

#### (1) 委員（五十音順、敬称略、◎委員長）

◎高見 彰（大阪国際大学人間科学部スポーツ行動学科 教授）

服部 純子（税理士）

平田 富士男（兵庫県立大学大学院緑環境計画マネジメント研究科 教授）

藤本 真里（兵庫県立大学自然・環境科学研究所 教授）

本多 重夫（弁護士）

#### (2) 委員選定の考え方

申請に係る収支計画や安定的な経営基盤、施設整備・管理運営に係る法的課題、利用者の視点など様々な視点から意見を聴取するため、スポーツの振興に関する専門的知識を有する者1名、公園の管理運営に関する専門的知識を有する者2名、弁護士及び税理士各1名の計5名を選定した。